

---

---

## カスタムデータベースインポート API サンプルプログラム 利用手順書

---

---

## 目次

<b>1</b>	<b>サンプルプログラムについて.....</b>	<b>3</b>
1.1	実行パラメーター.....	3
1.2	出力ログ .....	4
<b>2</b>	<b>使用前の準備 .....</b>	<b>5</b>
2.1	API トークンの設定 .....	5
2.2	サンプルプログラムの編集 .....	5
<b>3</b>	<b>使用例 .....</b>	<b>6</b>
3.1	手動で実行する .....	6
3.2	定期的に実行する.....	7
<b>4</b>	<b>補足 .....</b>	<b>11</b>
4.1	出力されるログの内容 .....	11
4.1.1	customdbapi_log_yyyyMMdd.txt 出力例 .....	11
4.1.2	send.json 出力例 .....	11
4.1.3	error_response.txt 出力例.....	11
4.1.4	error.txt 出力例 .....	12
4.2	案件データのカスタムデータベースへの取り込み .....	12

## 1 サンプルプログラムについて

本サンプルプログラムは、カスタムデータベースインポート API（以下、インポート API）を実行し、ローカルに配置した CSV ファイルをカスタムデータベースにインポートします。

お客様の環境に応じて、本サンプルプログラムを適宜修正してご利用ください。なお「2.2 サンプルプログラムの編集」以外の編集はお客様責任で実施してください。

※本ツールは Windows10 でのみ動作を確認しています。

モジュール	説明
customdbapi.bat	インポート API サンプルプログラム本体

### 【補足】

カスタムデータベースインポート API についてはリファレンスマニュアル-コンテンツ管理の以下を参照してください。

カスタムデータベース > インポート API

### 1.1 実行パラメーター

以下のパラメーターを指定して実行します。

引数	必須	説明
第 1 引数	○	インポート対象テーブル名
第 2 引数	○	インポートする CSV ファイルのパス
第 3 引数	○	インポートする CSV ファイルのエンコード MS932 または UTF-8
第 4 引数	—	データの更新方法 0=追加する、1=すべて置き換える 未指定の場合は追加する

customer\_master テーブルに UTF-8 の CSV ファイル「sample.csv」のデータを追加する場合、以下のようにパラメーターを指定して実行します。

```
customdbapi.bat customer_master sample.csv UTF-8 0
```

---

## 1.2 出力ログ

サンプルプログラムの実行結果は下記のログに出力します。

ファイル名	備考
customdbapi_log_YYYYMMdd.txt	実行ログです。実行開始日時、終了日時、実行結果などが出力されます。
send.json	送信パラメーターのログです。インポート API に送信したパラメーターが出力されます。CSV ファイルパスの不正などにより、パラメーターの送信ができなかった場合は出力されません。
error_response.txt	インポート API のエラーレスポンスです。エラーが返された場合のみ出力されます。
error.txt	パラメーター送信時のエラーログです。ワークフローシステムの応答がないなど、パラメーターを送信できなかった場合に出力されます。

customdbapi\_log\_YYYYMMdd.txt は logs フォルダーに、それ以外のログは history/(タイムスタンプ)フォルダーに出力されます。

logs フォルダーおよび history/(タイムスタンプ)フォルダーはサンプルプログラムと同ディレクトリに生成されます。

## 2 使用前の準備

### 2.1 API トークンの設定

ワークフローシステムのインポート API 設定で「API トークン」を設定します。

インポートAPIは、カスタムデータベース機能で作成したテーブルにレコードをインポートするAPIです。APIを使用することで、テーブルのレコードをバッチ処理でインポートすることができます。

☒ インポートAPI機能を使用する

APIトークン

【補足】  
インポート API 設定についてはリファレンスマニュアル-コンテンツ管理の以下を参照してください。  
カスタムデータベース > インポート API > インポート API 設定

### 2.2 サンプルプログラムの編集

1. customdbapi.bat の右クリックメニューから「編集」をクリックします。
2. メモ帳が開き、customdbapi.bat を編集できるので、「TARGET\_URL」の URL をインポートするワークフローシステム URL に変更します。

※「workflow-sv」の部分はご利用のワークフローシステム URL のドメイン名に変更する必要があります。

Create!Web フロー Cloud をご利用の場合は、以下のように変更します。

```
set TARGET_URL=" https://workflow-sv.createwebflow-cloud.jp/XFV20"
```

3. 「API\_TOKEN」を「2.1 API トークンの設定」で設定した値に変更します。
4. 編集を保存します。

```
customdbapi.bat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
@echo off

setlocal enabledelayedexpansion

rem 環境に合わせて値を変更してください
set TARGET_URL="http://workflow-sv:8080/XFV20"
set API_TOKEN="3lEtzi1d45R9KOqJuXQn17NeOpQwmDgkY7fYMaPz"
```

## 3 使用例

---

インポート API サンプルプログラムの使用例を説明します。

### 3.1 手動で実行する

#### 1. インポート API サンプルプログラムと CSV ファイルの配置

インポート API サンプルプログラムとインポートする CSV ファイルを任意のフォルダーに配置します。

##### 【補足】

インポートする CSV ファイルの構成についてはリファレンスマニュアル-コンテンツ管理の以下を参照してください。  
カスタムデータベース > レコードの編集 > インポート (CSV)

#### 2. コマンドプロンプトの起動

コマンドプロンプトを起動します。  
以下コマンドを実行し、現在のフォルダーをインポートAPIサンプルプログラムを配置したフォルダーに変更します。

```
cd (インポート API サンプルプログラムの配置フォルダー)
```

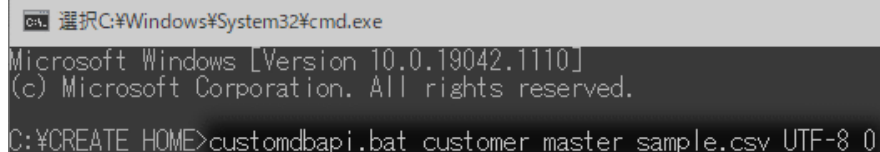
以下は、サンプルプログラムを C ドライブ上の CREATE\_HOME フォルダーに配置した場合の記述例です。

```
cd C:\CREATE_HOME
```

#### 3. インポート API サンプルプログラムの実行

実行パラメーターを半角スペース区切りで指定し、Enter を押下して実行します。

※customer\_master テーブルに UTF-8 でエンコーディングされた sample.csv のデータを追加



```
C:\ 選択 C:\Windows\System32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.19042.1110]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\CREATE_HOME>customdbapi.bat customer_master sample.csv UTF-8 0
```

#### 4. 実行結果の確認

コマンドプロンプトの出力を確認します。

```
C:\%CREATE_HOME>customdbapi.bat customer_master sample.csv UTF-8 0
2021/08/03 16:14:13.02 カスタムデータベースAPI実行ツールを開始します。
sample.csvをC:\%CREATE_HOME%\history\20210803161413に移動しました。
インポートが完了しました。
2021/08/03 16:14:13.38 カスタムデータベースAPI実行ツールを終了します。
C:\%CREATE_HOME>
```

ワークフローシステム上でデータがインポートされていることを確認します。

レコードの編集 : customer_master / 取引先一覧					
← テーブル一覧に戻る					
追加 編集 削除 インポート(CSV) エクスポート(CSV) ⚙					
列の選択 検索 🔍					
	customer_code (pk)*	customer_name	address	telephone_number	industries
1	A0001	インフォ情報株式会社	東京都	03-1234-5678	情報・通信業
2	A0002	インフォ建設株式会社	神奈川県	045-123-4567	建設業
3	A0003	インフォ食品株式会社	千葉県	043-123-4567	製造業
4	A0004	インフォ商事株式会社	埼玉県	048-123-4567	卸売業

## 3.2 定期的に実行する

#### 1. タスクスケジューラの起動

Windows のスタートメニューの[Windows 管理ツール]-[タスクスケジューラ]を選択し、タスクスケジューラを起動します。

#### 2. タスクの作成

[基本タスクの作成]をクリックします。



[基本タスクの作成]画面でタスクの名前や説明を指定します。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box. The title bar is '基本タスクの作成ウィザード'. The main title is '基本タスクの作成'. On the left, there is a list of steps: '基本タスクの作成' (selected), 'トリガー', '操作', and '完了'. The main area contains a text box for '名前(A):' with the value 'autoimport' and a larger text box for '説明(D):' with the value '自動インポート設定'. A small icon of a clock is next to the title. At the bottom right, there are three buttons: '< 戻る(B)', '次へ(N) >', and 'キャンセル'.

基本タスクの作成ウィザード

基本タスクの作成

このウィザードでは、よく使うタスクをすばやくスケジュールします。複数のタスクの操作やトリガーなどの詳細オプションや設定は、[操作] ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。

名前(A): autoimport

説明(D): 自動インポート設定

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[トリガー]画面でインポート API サンプルプログラムの起動日時を指定します。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box, Step 2: 'タスクトリガー'. The title bar is '基本タスクの作成ウィザード'. The main title is 'タスクトリガー'. On the left, there is a list of steps: '基本タスクの作成', 'トリガー' (selected), '毎週', '操作', and '完了'. The main area contains a section titled 'いつタスクを開始しますか?' with several radio button options: '毎日(D)', '毎週(W)' (selected), '毎月(M)', '1 回限り(O)', 'コンピューターの起動時(H)', 'ログオン時(L)', and '特定イベントのログへの記録時(E)'. A small icon of a clock is next to the title.

基本タスクの作成ウィザード

タスクトリガー

基本タスクの作成

いつタスクを開始しますか?

トリガー

毎日(D)

毎週(W)

毎月(M)

1 回限り(O)

コンピューターの起動時(H)

ログオン時(L)

特定イベントのログへの記録時(E)

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box, Step 3: '毎週'. The title bar is '基本タスクの作成ウィザード'. The main title is '毎週'. On the left, there is a list of steps: '基本タスクの作成', 'トリガー', '毎週' (selected), '操作', and '完了'. The main area contains a section titled '開始(S):' with a date '2021/10/21' and a time '12:00:00'. There is a checkbox for 'タイムゾーン間で同期(Z)'. Below this, there is a section titled '間隔(C):' with a value '1' and a section titled '週間ごとの次の曜日:' with several checkboxes: '日曜日(U)', '月曜日(A)', '火曜日(T)', '水曜日(Y)', '木曜日(H)', '金曜日(F)' (selected), and '土曜日(R)'. A small icon of a clock is next to the title.

基本タスクの作成ウィザード

毎週

基本タスクの作成

開始(S): 2021/10/21 12:00:00

タイムゾーン間で同期(Z)

間隔(C): 1

週間ごとの次の曜日:

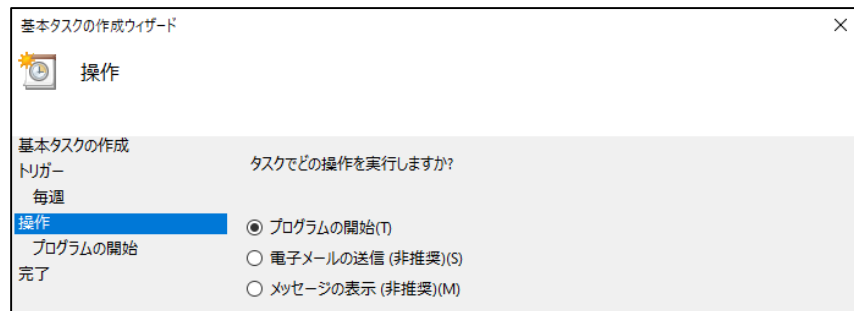
日曜日(U) 月曜日(A) 火曜日(T) 水曜日(Y)

木曜日(H) 金曜日(F) 土曜日(R)



### 3. 操作の設定

[操作]画面で[プログラムの開始]を選択します。



基本タスクの作成ウィザード

操作

基本タスクの作成

トリガー: 毎週

タスクでどの操作を実行しますか?

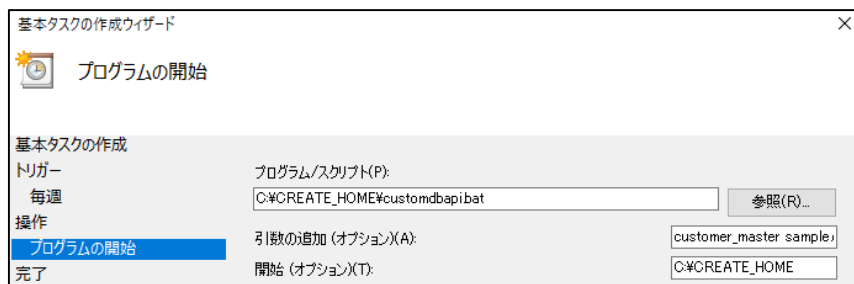
操作: ☒ プログラムの開始(T)

プログラムの開始: ☐ 電子メールの送信 (非推奨)(S)

完了: ☐ メッセージの表示 (非推奨)(M)

[プログラムの開始]画面で以下の項目を設定します。

項目名	設定値	設定例
プログラム/スクリプト	実行ツールのファイルパス	C:%CREATE_HOME%customdbapi.bat
引数の追加 (オプション)	実行時の引数	customer_master sample.csv UTF-8 1
開始 (オプション)	実行ツールの配置パス	C:%CREATE_HOME



基本タスクの作成ウィザード

プログラムの開始

基本タスクの作成

トリガー: 毎週

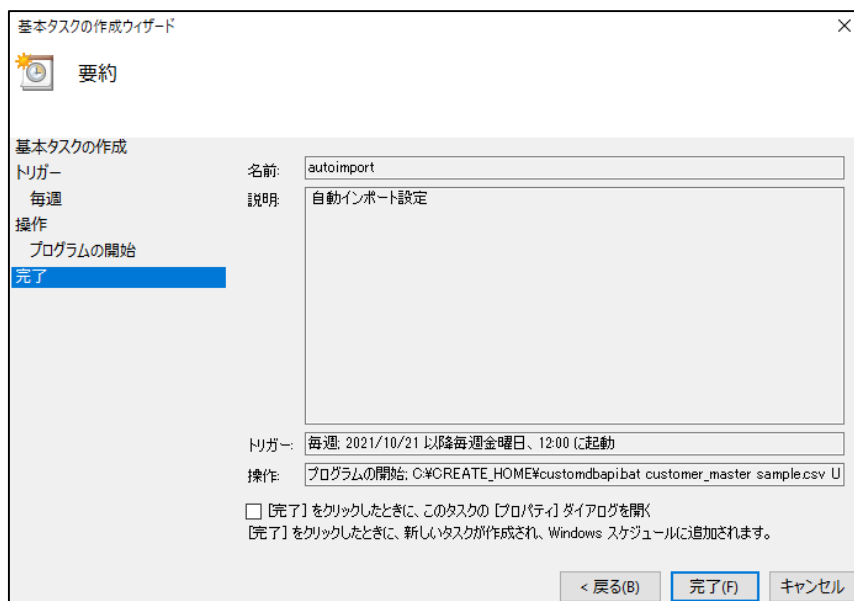
プログラム/スクリプト(P): C:%CREATE\_HOME%customdbapi.bat 参照(R)...

操作: ☒ プログラムの開始

引数の追加 (オプション)(A): customer\_master sample

完了: 開始 (オプション)(T): C:%CREATE\_HOME

[完了]をクリックします。



基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

名前: autoimport

説明: 自動インポート設定

トリガー: 毎週: 2021/10/21 以降毎週金曜日、12:00 に起動

操作: プログラムの開始: C:%CREATE\_HOME%customdbapi.bat customer\_master sample.csv U

☐ [完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く

[完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

#### 4. 実行結果の確認

トリガーに設定した実行時刻経過後、ログを確認します。

2021/08/03 16:45:00.80 カスタムデータベース API 実行ツールを開始します。  
sample.csv を C:\¥CREATE\_HOME¥history¥20210803164500 に移動しました。  
インポートが完了しました。  
2021/08/03 16:45:01.02 カスタムデータベース API 実行ツールを終了します。

ワークフローシステム上でデータがインポートされていることを確認します。

レコードの編集 : customer_master / 取引先一覧					
<a href="#">← テーブル一覧に戻る</a>					
<a href="#">追加</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a> <a href="#">↑ インポート(CSV)</a> <a href="#">↓ エクスポート(CSV)</a> <a href="#">⚙</a>					
<div>列の選択 ▼ <input type="text" value="検索"/> <a href="#">🔍</a></div>					
	customer_code (pk)*	customer_name	address	telephone_number	industries
1	A0001	インフォ情報株式会社	東京都	03-1234-5678	情報・通信業
2	A0002	インフォ建設株式会社	神奈川県	045-123-4567	建設業
3	A0003	インフォ食品株式会社	千葉県	043-123-4567	製造業
4	A0004	インフォ商事株式会社	埼玉県	048-123-4567	卸売業

## 4 補足

### 4.1 出力されるログの内容

#### 4.1.1 customdbapi\_log\_yyyyMMdd.txt 出力例

customdbapi\_log\_yyyyMMdd.txt には以下を出力します。

- ・インポート API 実行の実行開始日時
- ・インポートの完了した CSV ファイルの移動先パス
- ・インポート API の実行結果
- ・インポート API 実行の実行終了日時

以下は、インポートがすべて成功した場合の出力例です。

```
2021/07/28 16:15:09.84 カスタムデータベース API 実行ツールを開始します。
sample.csv を C:\CREATE_HOME\history\20210728161509 に移動しました。
インポートが完了しました。
2021/07/28 16:15:10.24 カスタムデータベース API 実行ツールを終了します。
```

#### 4.1.2 send.json 出力例

send.json には、ワークフローシステムサーバーに送信したパラメーターを出力します。

パラメーターは以下の通り、インポート API の送信パラメーター仕様に従いフォーマットして出力します。

```
{
  "table_name": "customer_master",
  "import_data": "
Y3VzdG9tZXJfY29kZSxjdXN0b21lc19uYW1lLGFkZHIlc3MsZGVsZXBob25lX25l
bWJlcixpbmR1c3RyaWVzDQpBMDAwMSZjgqTjg7Pjg5Xjgqnm4XloLHmoKrlvI/k
vJrnpL4s5p2x5Lqs6YO9LDAzLTEyMzQtNTY3OCZmg4XloLHjg7vpgJrkv6Hmpa0N
CkEwMDAyLOOCpOODs+ODleOCqeW7uuioreagquW8j+S8muekviznpZ7lpYjlt53n
nIwsMDQ1LTEyMy00NTY3LOW7uuiorealrQ0KQTAwMDMs44Kk44Oz44OV44Kp6a
Of
5ZOB5qCq5byP5Lya56S+LOWNg+iRieecjCwwNDMtMTIzLTQ1Njcs6KO96YCg5qWt
DQpBMDAwNCZjgqTjg7Pjg5XjgqnllybkuovmoKrlvI/kvJrnpL4s5Z+8546J55yM
LDA0OC0xMjMtNDU2Nyzljbjlo7Lmpa0NCg==
",
  "encoding": "UTF-8",
  "replace": "true"
}
```

#### 4.1.3 error\_response.txt 出力例

error\_response.txt には以下を出力します。

- ・インポート API 実行時のレスポンス
- ・インポート API のエラーコード

以下は、主キー重複エラーが発生した場合の出力例です。

```
HTTP/1.1 400
Set-Cookie: JSESSIONID=9C5BB6DE34D558D9C9FD20CC761A5F46; Path=/XFV20;
HttpOnly
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Methods: GET,POST,PUT,DELETE,OPTIONS
Access-Control-Allow-Headers: Content-Type,Accept,Origin,X-CWF-API-Token
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Transfer-Encoding: chunked
Date: Wed, 28 Jul 2021 07:40:28 GMT
Connection: close

{"error_lines":[{"line":2,"message":"ERROR: duplicate key value violates unique
constraint \"pk_ud20180307140548057\"\\n 詳細: Key (customer_code)=(A0002) already
exists."}]}
```

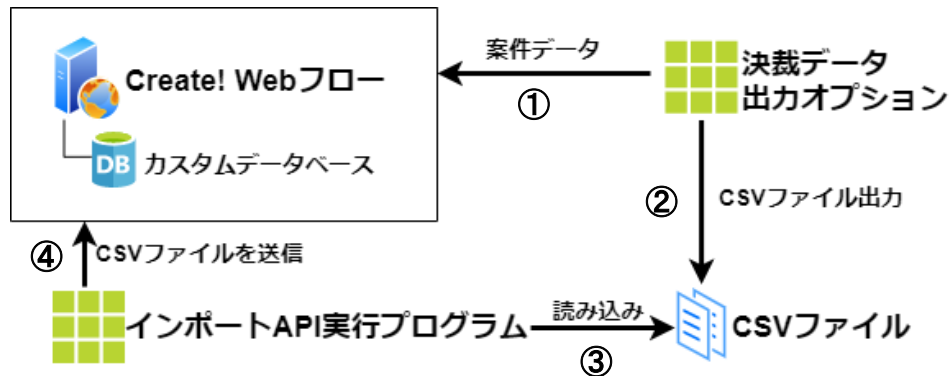
#### 4.1.4 error.txt 出力例

error.txt にはインポートデータ送信時のエラーを出力します。  
以下は、サーバーに接続できなかった場合の出力例です。

```
curl: (7) Failed to connect to localhost port 8080: Connection refused
```

## 4.2 案件データのカスタムデータベースへの取り込み

決裁データ出力オプションと連携することで、ワークフローシステムの案件データをカスタムデータベースへ取り込むことが出来ます。



#### 【補足】

決裁データ出力オプションについては、決裁データ出力オプションのマニュアルを参照してください。

決裁データ出力オプションで出力する CSV ファイルは以下の点に注意してください。

- ヘッダーをカスタムデータベースの列（カラム）と同名にすること
- 「出力対象案件を 1 ファイルにまとめて出力する」をオンに設定し、出力ファイル名を固定する

CSV ファイル出力例.

<i>customer_code</i>	<i>customer_name</i>	<i>address</i>	<i>telephone_number</i>	<i>industries</i>
A0001	ワークフロー情報株式会社	東京都	03-1234-5678	情報・通信業
A0002	ワークフロー建設株式会社	神奈川県	045-123-4567	建設業
A0003	ワークフロー食品株式会社	千葉県	043-123-4567	製造業
A0004	ワークフロー商事株式会社	埼玉県	048-123-4567	卸売業

#### 【補足】

インポートする CSV ファイル構成についてはリファレンスマニュアル-コンテンツ管理の以下を参照してください。

カスタムデータベース > レコードの編集 > インポート (CSV)